

くでじゅう 丹波篠山市ふるさと納税返礼品に組手什キット

丹波篠山市のふるさと納税返礼品に本年度よりバイオマス丹波篠山が販売する組手什(くでじゅう)が登場します。

広報「丹波篠山」6月号では「返礼品がドカッと追加！これまでの返礼品は魅力ある農産品を中心とした品ぞろえでしたが、今回、近年盛り上がりを見せる工芸品(クラフトアート)や、加工品、工業製品を追加し、ますます魅力的な品ぞろえとなっています。」と返礼品の充実がアピールされています。

組手什は昨年度NHKの朝ドラ「おかえりモネ」で取り上げられて関心が高まり、小学校の木工体験学習でも使っていただいています。



組手什 8 セル 10 本セット

今回その組手什が、丹波篠山市のふるさと納税返礼品に採用されたのです。返礼品として

いただいたのは、組手什組立キット 3 種と組手什(85 cm<8 セル>)10 本セットです。



ワインラック組手什キット



ワインラック組立後完成品



飾り小棚①組手什キット



飾り小棚①組立後完成品



飾り小棚②組手什キット



飾り小棚②組立後完成品

「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ふるなび」で検索を
「さとふる」「ANAふるさと納税」「ふるらほ」にも追って登場

上記 6 サイトのいずれでも是非ご覧ください。

組手什は丹波篠山の間伐材を利用して作られています。二酸化炭素を吸収してくれる森を元気にするためにも間伐は意義あるものです。組手什を使っていただくことが間伐材の需要を増し、篠山に元気できれいな山並みを蘇らせることに繋がります。組手什は塗装などの処理をしていませんので、部屋に入る度に スギ、ヒノキの爽やかでリラックス効果のある香りがあなたを包みます。組手什、ぜひ一度お試しください。

なお丹波篠山市民は残念ながらふるさと納税返礼品として受け取ることはできません。別途バイオマス丹波篠山より直接ご購入下さい。

組手什(くでじゅう)の
お問い合わせは



☎ 079-593-1150 FAX 079-593-1377
E-mail info.bmtsasayama@gmail.com

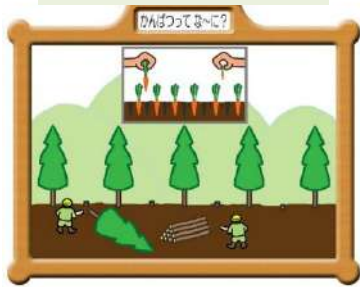
市内 3 小学校で森林環境学習

間伐体験・組手什(くでしゅ)体験・樹木名札付け体験も

昨年度、西紀小学校では5年生に6/1, 7/6, 10/6に、城東小学校では4年生に11/4に、古市小学校では5年生に12/3に体験学習してもらいました。

森林環境学習～西紀小学校・城東小学校・古市小学校～

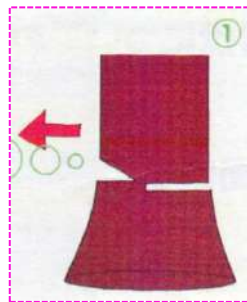
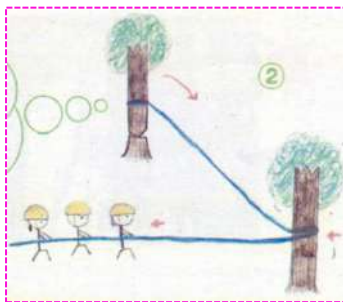
ニンジンの間引きと間伐



今世界的に問題となっている地球温暖化や異常気象と自然災害、また人手の入らない森の荒廃について説明し、二酸化炭素を吸って酸素を供給してくれる森を、もっと元気にする必要があるので理解してもらいました。特に間伐については、ニンジン栽培の間引きを例にとりてその意義を理解してもらいました。



間伐することで災害を防ぐことにもつながることや、石油ストーブもたくさん二酸化炭素を出していること、木を燃やすことは二酸化炭素を増やすことにはつながらないことなど理解してもらいました。



間伐体験学習～西紀小学校・城東小学校～

まず木が込み合って暗く下草が少いヒノキ林の状態を観察してもらいました。そして木



生徒さんが図示してくれた木の伐り方

を伐る前に、木に触れ目を閉じて1分間、木の感触を肌を通して感じ取ってもらいました。

倒す方向を考えた木の伐り方について「受け口」「追い口」の説明、またロープと滑車を使って適切な方向に危険なく木を倒す方法も説明した上で、のこぎりで1本のヒノキを全員で少しずつ切り進めてもらい、最後に全員でロープを引っ張って倒してもらいました。

組手什(くでしゅ)体験学習～西紀小学校・古市小学校～

組手什はスギやヒノキの間伐材を利用して作られたもので、2mの組手什を必要な長さにカットして、8cmごとにある「くぼみ」を自由に組み合わせることで、思い思いの木工作品を作ることができます。

生徒さんにはあらかじめ配布していた作品例集をもとに自分が作りたい作品を頭に描いておいてもらいました。その作品に必要な組手什の長さとお数を確認したあと、のこぎりで慎重に組手什をカット、順序よくゴムハンマーでしっかりと



りはめ込んでいきます。必要な組手什の長さとお数を考えたりするのに時間がかかったり、のこぎり作業とゴムハンマー作業に苦勞する生徒さんもいましたが、生徒さん同士で助言し合ったり手伝い合ったりして、全員完成できました。

樹木名札付け体験～西紀小学校～



間伐体験学習で間伐したヒノキの薄い輪切り板を利用して樹木名を記入し、校内の樹木に名札をつける体験をしてもらいました

事前にバイオマス丹波篠山の植物名に詳しいスタッフが調査した資料をもとに、生徒さん全員で約30種の樹木名を記入し、準備してくれました。

そして当日はスタッフが用意した、名札を付ける樹木の特徴などをまとめたプリントを見、スタッフの説明を聞きながら、生徒さんが手分けして名札を付けて回りました。



「里山育成研修会」5回にわたり開催

2019年度より毎年開催し、昨年度で4年目となる「里山育成研修会」（丹波の里山づくり推進事業実行委員会主催・バイオマス丹波篠山運営）が、実際の里山づくりに関わるアクションが起こせるようなプログラムで5回にわたって開催されました。



第1回丹波篠山市川阪

12/18の第1回は丹波篠山市川阪にてバイオマス丹波篠山理事長高橋隆治から、丹波地域での人工林をめぐる環境の現状の話聞き、後半は実際の間伐・搬出作業の一連の流れを見学しました。



第2回丹波並木道中央公園

1/15の第2回は丹波並木道中央公園内の製材所にて、丹波林産振興センターの西脇誠さんをお迎えし、スギなどの丸太から板材に製材するまでの作業を見学しました。



第3回丹波の森公苑

2/12の第3回は丹波の森公苑にて、神戸大学農学部の黒田慶子先生を講師に、リモート配信での講演会を行いました。前半は広葉樹林をめぐる現状と課題について、後半は広葉樹林の「材」としての活用方法について



第4回ナチュラルバックヤード工房

とお話いただきました。



第5回丹波年輪の里

3/5の第4回はナチュラルバックヤードの足立伸也さんから、その西阪本の工房にて、野地板を使ったクラフト作業を指導してもらいました。参加者は、木材をカットする機械やコンプレッサーやインパクトなどさまざまな工具の使い方を学びつつ、自分の好みの作品を仕上げました。

3/20の第5回は丹波年輪の里のクラフト広場にて、グリーンウッドワークインストラクターの福畑慎吾さんから、「グリーンウッドワーク」の技術を学びました。「ホオノキ」の生木丸太から、まずは斧であらかたの形をつくり、仕上げにナイフを使って杓子を作り上げました。

間伐や里山整備はもとより 庭木や危険木の伐採まで



今年6月、丹波篠山市の依頼により、兵庫医科大学ささやま医療センターや篠山市西紀老人福祉センターで、大きくなり過ぎた庭木の伐採を実施。来訪者の安全に寄与させていただきました。

強風で木が倒れたら建物に被害が…、道路に枝がはみ出て危険…、枝が電線にかかっている…など心配な木はありませんか？



伐採はバイオマス丹波篠山 におまかせください！

バイオマス丹波篠山が安全に処理させていただきます。お気軽にご相談ください。

もちろん何ヘクタールもある山の間伐・里山整備にもあたらせていただいています。昨年8月の「バイオマス丹波篠山新聞」でもお知らせしたとおり、3地区の「森林経営計画」を一昨年度までに完遂し、現在岩崎や栗柄でも計画中です。



個人の小規模な山の間伐・里山整備にも対応します。お気軽にご相談ください。

木の駅登録者の皆さまも大きな力 昨年度木の駅出材量は45トン



山の間伐・里山整備・わち刈りなどには、木の駅登録者のみなさまにも毎年努力を続けてもらっており、搬出された木材を垣屋にある貯木場まで運び入れていただいています。昨年度、丹波篠山木の駅実行委員会登録者84名の皆さまの力で木の駅に搬入していただいた木材は、針葉樹約30トン、広葉樹約15トンで合計45トンとなりました。

木の駅登録者募集中

地域通貨券「里山券」と交換します。軽トラ1台分2000円（1トンで6000円）の「里山券」を発行します。市内に20以上に増えた「里山券」使用登録店舗で利用できます。登録お待ちしております！（079-593-1150）

木の駅実行委員会に登録して出材してみませんか？垣屋の木の駅まで木材を持ってきてもらえれば、地

